

2018年度事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ

1 事業の成果

- ①電話相談や交流会を通じて、HIV陽性者・エイズ患者に対する情報提供、支援ができた。
- ②電話相談を通じて、感染不安を抱える人に情報提供することができた。
- ③キルトを通じて海外の子どもを支援することができた。
- ④講演活動、イベントにブース出展等を通じて、エイズの知識の啓発・共生について伝えることができた。
- ⑤会報や勉強会を通じて会員内外の情報交換や研修をすることができた。

2 事業の実施に関する事項

- (1)特定非営利活動に係る事業
 - ①HIV感染者・エイズ患者などに対する社会的支援サポート事業
 - ②電話相談事業
 - ③キルトの製作及び海外への送付事業
 - ④エイズ予防等に関する普及啓発事業
 - ⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
①	HIV陽性者交流会 in HOKKAIDO 企画・運営	4月21日、6月16日、8月18日、10月20日、12月15日、2月16日 (全6回)	札幌市内公共施設ほか	2人	48人
①	HIV陽性者面談相談 くれば一緒	月2回	RRS事務所	2人	—
①②	エイズ電話相談	毎週火曜	RRS事務所	3人	334人
②	札幌市主催「LGBTほっとライン」電話相談員の派遣	毎週木曜	エルプラザ	2人	—
③	キルト作成(海外のエイズ遺児支援のために送るキルト)	月3～4回	RRS事務所	10人	—
④	北海道医療大学「九十九祭」ブース出展・ステージ発表	6月17日	北海道医療大学	4人	300人
④	レインボーファミリー札幌主催「LGBTとHIV」講師派遣および協力	8月4日	札幌市中央区民センター	5人	10人
④	「HIVとごとの札幌フォーラム～HIV陽性を伝えること、伝えないことの尊重～開催	8月25日	道民活動センタービル かでる2・7	6人	43人
④	さっぽろレインボープライド ブース出展・パレード参加	10月7日	大通公園	4人	680人
④	札幌市主催「ゲイ・バイ男性のためのエイズ検査」企画提案・広報・相談員派遣	10月14日	札幌市中央保健センター	4人	55人
④	第4回つながろう！北海道 SDGs×コミュニティアートキャラバン サッポロ5リボンズ ブース出展 協力	11月11日	札幌市地下歩行空間チカホ北3条交差点広場(西)	3人	200人
④	WAD(世界エイズデー企画・札幌市からの委託事業)の広報ラジオ出演	11月中旬～12月上旬	札幌市内	2人	5箇所
④	世界エイズデーシアター(演劇)協力・当日参加	11月30日～12月2日	ターミナルプラザことばバス	3人	355人
④	旭川「HIV/AIDS拠点病院看護師研修会」講師派遣	1月26日	旭川市内	1人	30人
④	札幌市エイズ対策推進協議会 出席	2月22日	札幌市内	2人	—
⑤	定期年次総会	5月15日	RRS事務所	15人	—
⑤	札幌市パートナーシップ宣誓制度開始1周年記念「これからのさっぽろ・これからのわたしたち」参加	6月1日	札幌エルプラザ4階大研修室	3人	—
⑤	はばたき福祉事業団北海道支部主催「HIV検査相談担当者研修会」参加	6月30日	道民活動センタービル かでる2・7	3人	—
⑤	「第32回日本エイズ学会」参加	12月2日～12月4日	大阪(大阪国際会議場)	2人	—
⑤	はばたき福祉事業団北海道支部主催「北海道HIV情報交換会 特別講演」参加	2月2日	ホテルマイステイズ札幌アспен	3人	—
⑤	多様な性と性別を考える講演会「LGBTのこと、そして人権～だれもが生きやすい社会へ～」参加	3月7日	札幌エルプラザ3階ホール	2人	—
⑤	会員向けミニ勉強会の企画・運営	5月26日、9月22日、11月4日	RRS事務所	4人	15人
⑤	会報の発行	年間4回	RRS事務所	3人	400人
⑤	ホームページ・ブログ・ツイッター・メルマガリストの運営・管理	不定期	RRS事務所	2人	—
⑤	事務局会議	不定期	RRS事務所	5人	—
⑤	運営会議	月1回	RRS事務所	3～10人	—

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 6 事業内容及び支出額は、収支計算書の事業費の科目及び支出額との整合性を図る。